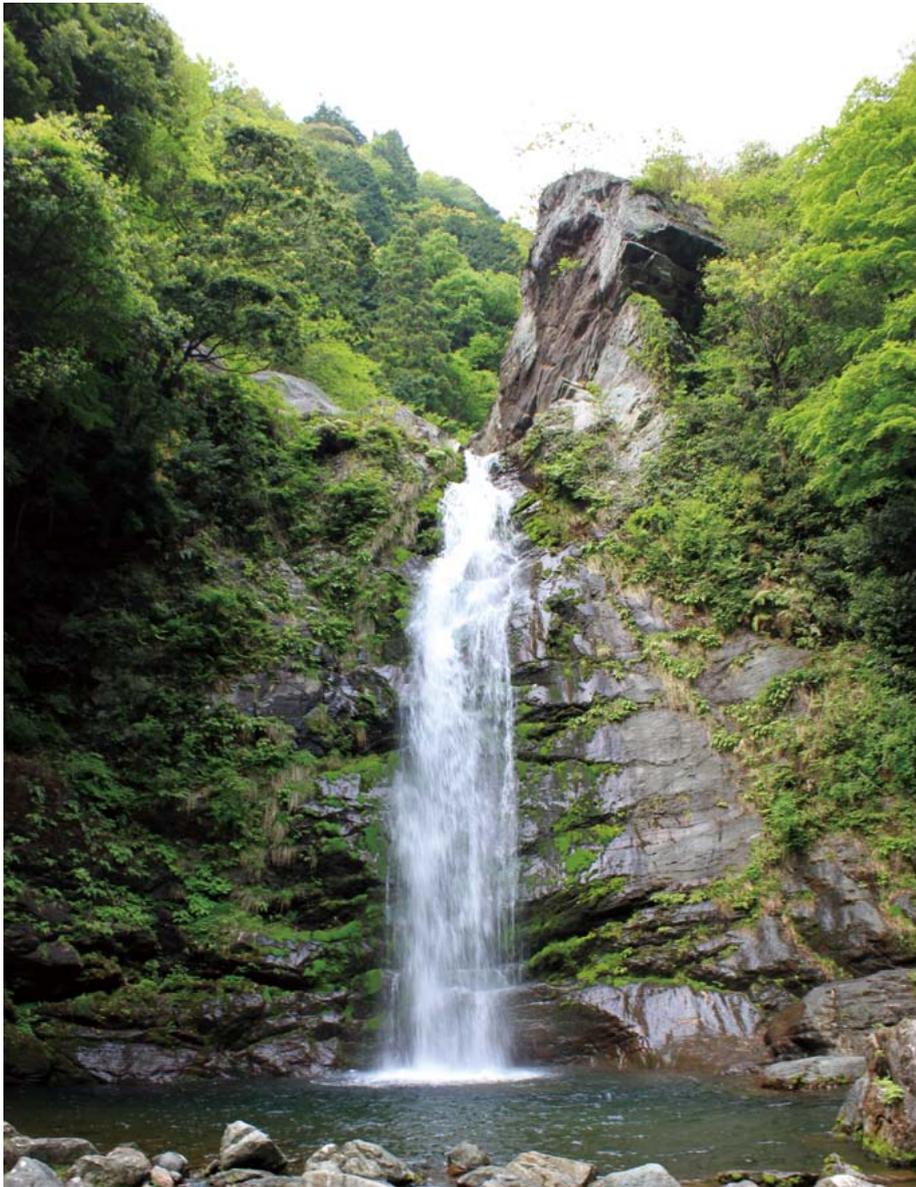


博物館だより



博物館近くの見どころ

「銚子の滝」

博物館から東へ。目指す銚子の滝は渦井川の上流にあります。松山自動車道の高架橋をくぐり、渦井川の横を走る林道を上流に進むと滝の駐車スペースに着きます。林道では「結晶片岩」特有の板状の角ばった露頭が目の前にせまり、自然の荒々しさを感じさせてくれます。

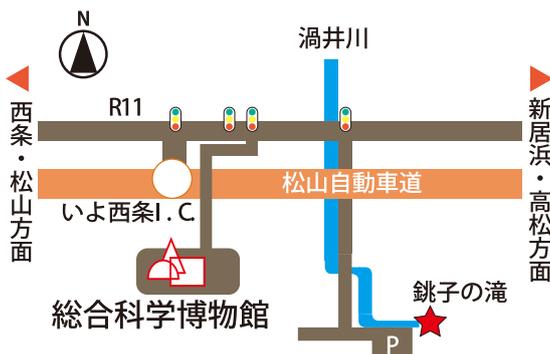
駐車スペースからは徒歩です。途中「根性もみじ」の看板が見上げると、もみじが岩盤にへばり付いて生えています。まさに「根性」です。そして、10分ほどで滝の全貌が目の前に現れてきます。

銚子の滝は、60m以上の落差があり、その間に5個の滝が連続しています。集水域は黒森山の稜線の北側で、面積が広く、年間を通じて豊かな水量を保っています。さらに進むと一番奥の滝にたどり着きます（写真）。この滝の滝口が凹型になっていて、銚子の形に似ていることから「銚子の滝」と名付けられたそうです。滝壺からは霧状のしぶきが豪快に上がっており、森の中にももの凄い存在感を示しています。

あまり有名ではないかもしれませんが、規模、水量からみてもかなりの名瀑です。これから夏本番。博物館に来館された際は、涼を求めて「銚子の滝」を訪れてはいかがでしょうか。

※林道は道幅が狭くなっています。車の運転にはくれぐれもご注意ください。

(企画普及グループ 岩本直哉)



Index

話題	◆夏の特別展「スリラー博士の恐怖の実験室」…… 2・3
	◆携帯用浄水器で「水の安全を考える」…… 4・5
	◆新しい展示「竜巻発生装置」「サイエンス工房」…… 5
活動報告	◆活動報告 …… 6
催し物のお知らせ	◆「夏だ!おもしろ実験まつり」
	巡回展「森の博物館」 …… 6
	◆博物館講座参加者募集 …… 7
	◆プラネタリウム◆サイエンスショー …… 8
友の会・利用案内	…… 8

博物館から国道11号線にて新居浜方向へ。スーパー前の交差点から南に入り、渦井川にそって約5km進むと駐車場にたどり着く。

夏の特別展

ドキドキ体感
ミュージアム

スリラー博士の

恐怖の実験室



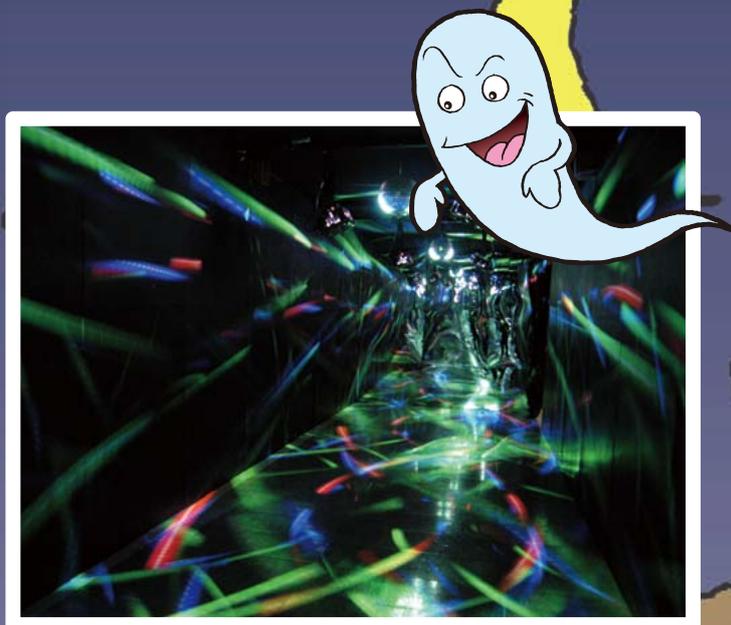
平成23年7月9日～9月4日

暗い森の奥にひっそりとたたずむお城

そこには風変わりなスリラー博士とモンスターがすんでいるといううわさが…。そんなお城へとみなさんをご案内します。「影の実験室」「光の実験室」や「暗闇の廊下」「モンスターのいる地下室」など、いろいろな部屋で繰り広げられる不思議な現象を楽しみながら進みましょう。錯覚効果を用いた体験展示物や映像・演出など、普段体験できない不思議な感覚を再現します。中では、白衣を着た博士の助手達がお出迎え！少し怖くて不思議な「スリラー博士の恐怖の実験室」で、ドキドキを体感してくださいね。ところで、お城の中にはどんな部屋があるのでしょうか？ちょっとだけご紹介しましょう。

 スリラー博士のコレクションルーム

スリラー博士のさまざまなコレクションが飾られている部屋です。飛び出して見える不思議な写真「ホログラム」がたくさん展示してあります。眠りから目を覚ますドラキュラ、変身する狼男など…。他にも「ルビンの壺」「追いかけてくる顔」…へんてこなものばかり。



 光の実験室

中は鏡の部屋です。この部屋の中の天井ミラーボールに映像を反射回転させます。部屋中に映像が音と一緒に動きながら無限に広がってゆく不思議な空間です。

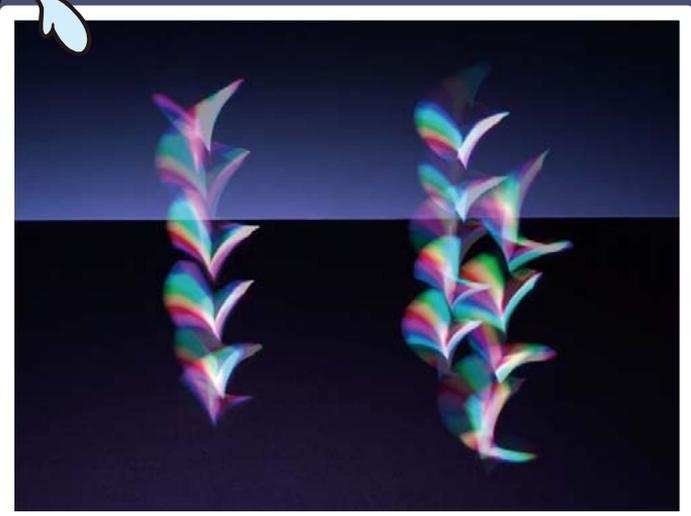




恐怖のワームトンネル

ゲルゲルとトンネルの内側が回転する不思議な「ワームトンネル」。あなたは無事に通り抜けることが出来るでしょうか？

※車椅子、ベビーカーの方はご遠慮ください



虹をつくる実験室

特殊な照明を当てた部屋の中で白い羽を回転させてみましょう。回転した羽の軌跡が虹色に見える不思議な現象が起こります。さまざまなものを回転させて実験してみましょう。

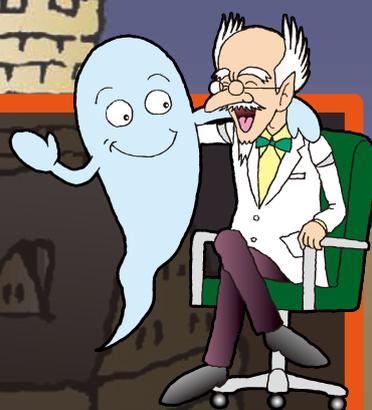


モンスターのすむ地下室

放電球とブラックライトに照らされた不思議な空間の地下室。その奥にはモンスターが閉じ込められている？



不思議で、楽しくて、ちょっとこわ
ーい体験がみんなを待っています
「スリラー博士の恐怖の実験室」で、
ドキドキを体験しよう！



特別展「～ドキドキ体験ミュージアム～ スリラー博士の恐怖の実験室」

開催期間：平成23年7月9日（土）～9月4日（日）

【休館日：7月11日（月）、19日（火）】

場 所：愛媛県総合科学博物館 企画展示室

料 金：特別展のみ

大人（高校生以上）700円 65歳以上350円 小中学生350円

セット料金（特別展＋常設展）

大人（高校生以上）1000円 65歳以上500円 小中学生350円

お問い合わせ：愛媛県総合科学博物館

〒792-0060 愛媛県新居浜市大生院 2133-2

携帯用浄水器で「水の安全を考える」

篠原 功治

近年、携帯用浄水器が安価で販売されるようになってきています。このような背景には、科学・技術の発展と、日本ばかりではなく世界中で水への安心・安全に対する関心が高まっており、多くの需要があるためと考えられます。本稿では、まず浄水器の仕組みについて述べ、その後に、携帯用浄水器がどのような条件下で使用できるのか、また、どのようなところで使用されているのかについて触れてみたいと思います。

浄水器とは

一般的な家庭用浄水器では、中空糸膜と活性炭でろ過や吸着を行います。中空糸膜で病原細菌、雑菌、サビを除去し、活性炭で、カルキ臭、カビ臭さを取り除きます。これは、現在、主流となっている浄水器の一般的なフィルター構造です。写真1は、私がペットボトルで作った手作り浄水器で、黒い部分は浄水用のヤシ殻活性炭（1～2mmの粒状タイプ）です。かつての浄水器は、このように活性炭だけを使っていましたが、水道水から消毒のために使用されている塩素が除去され、細菌が増えることがあるので、現在は中空糸膜と組み合わせられています。

中空糸膜とは、ろ過機能を持つポリエチレンを原料とした多孔質中空繊維のことで、中が空洞のストローのような形をしています。ストロー状になっている繊維の壁面に特殊な約0.1μmのスリット状の微細孔があり、繊維の外側から内側に水を透過させ精密ろ過を行います。内側に透過した水は、空洞を通過してコップなどに注がれていきます。この繊維を束にしてフィルターとして使用しています。そのため大きさが約1～2μm以上の細菌やサビなどは、微細孔を通り抜けることができず、内側の空洞に通り返けた水と分離されます。



写真1 手作り浄水器

どのような水が浄水できるのか

しかしながら、このフィルター構造といえどもすべての水を浄水できるわけではありません。サビや藻類、泥などの懸濁物質や、コレラ菌、大腸菌、赤痢菌などの病原細菌や、クリプトスポルジウム、ジアルジアなどの原虫、インフルエンザ、ポリオ、A型肝炎などのウイルスなどをろ過し、残留塩素やトリハロメタンなどを吸着除去しますが、水に溶けたイオン化している化学物質は小さすぎて完全には除去されません。つまり、カルシウム・ナトリウム・カリウム・マグネシウム・リン・硫黄・鉄などの有益なミネラル分を通す一方で、イオン化しているフッ素・硝酸・鉛などの有害な物質も通してしまうのです。ですから、有害物質が溶け込んでいる池や川では浄水器は使用できませんし、海水を淡水にも変えることはできません。海水を淡水に変えるには、海水を蒸発させて水蒸気を冷やして淡水を得る方法や、水は通すけれど塩分は通し難い半透膜と呼ばれ

る膜を使う方法があります。主に離島の渇水対策として海水淡水化施設で使用されています。

携帯用浄水器を使用する

ストロー型浄水器（A社）は、写真2のようにコップに水道水などを入れてストローで吸い上げることで、フィルターを通した浄水を飲みます。水に汚れのある場合は、付属の殺菌剤を入れて使用します。ストロー型浄水器は、活性炭の吸着能力による浄水を行います。活性炭で除去できない病原細菌などは、殺菌剤を水に混ぜることで消毒します。活性炭は、従来の粒状活性炭と、筒部にたまった水が腐らず菌が繁殖しないようにするため銀添着活性炭が使用されており、吸着能力がありミネラルを多く含むコーラルサンドと呼ばれる珊瑚の粉末も用いられています。殺菌剤には、消石灰（水酸化カルシウム）に塩素を吸収させて作る高度サラシ粉（次亜塩素酸カルシウム）が含まれています。これは100リットルの浄水が可能です。水道水の残留塩素は0.1ppm以上ですが、浄水後の残留塩素を測定すると、0.05ppm以下でした。



写真2 ストロー型浄水器（A社）

B社のチューブ型浄水器は、専用チューブに水道水などを入れ、手で軽く押し絞ることでフィルターを通した浄水を飲みます。このタイプは、中空糸膜のろ過機能と繊維状活性炭の吸着能力による浄水を行います。浄水後の残留塩素を測定すると、0.05ppm以下でした。フィルターがすぐに使えなくなりますが、緊急時には写真3のような濁った水の浄水も行うことができます。

A社のストロー型浄水器にもいえることですが、イオン化した化学物質は除去できず海水を淡水にはできませんが、参考までに、牛乳、コーラ、ミカンジュース、塩水を通してみました。牛乳とミカンジュースは、しばらくは透明な液体が出てきますが、すぐに、フィルターが詰まってしまうので、やはり泥やゴミで濁った水には使用できないことが分かりました。コーラは味と色がやや薄くなり、塩水はやや味が薄くなりますが、やはり完全な浄水はできないことが

分かりました。B社のチューブ型浄水器は、200リットルの浄水が可能です。

日本ではこれらの携帯用浄水器は、川や池などの水や風呂の残り水、トイレのタンクの水、雨水、学校のプールの水も飲料水に変えてくれるので地震災害で水道水が確保できなくなったときや、登山時などのアウトドアで緊急に飲み水が必要になったとき、海外へ旅行したときに現地の水で体調を崩したくないときなどに役立ちます。



写真3 チューブ型の浄水器 (B社)

世界に目を向けると、C社(スイス)のストロー型浄水器があります。発展途上国など水道の整備が遅れている地域での飲料水摂取に使われています(写真4)。A社・B社の製品と同じく、やはりイオン化した化学物質は除去できませんが、0.2μmの微細孔を持つフィルターにより原水の99%以上の細菌や寄生虫を除去できるといいます。世界の貧しい人々の半数は汚れた水を飲んだことで病気になり、子どもを中心に毎日多くの人が亡くなっていますが、携帯用浄水器があれば予防できるのです。

(学芸課 科学技術研究科 主任学芸員)



写真4-1 飲料水を確保している風景



写真4-2

ストロー型浄水器 (C社)

常設展示室の

新しい展示
NEW exhibits



★サイエンス工房

様々な科学イベントを行い、来館者が参加して楽しむことができるワークショップスペースです。イベントのない日は、いろいろな木のパズルや知育玩具で、遊びながら学ぶことができます。小さなお子さんも安心して楽しめるように、かわいい椅子やテーブルも用意しています。親子で科学を楽しんでください。

※これらの展示は、子育てサポート事業により実施しています



★竜巻発生装置

スタートボタンを押すと、床から天井に向かって竜巻が発生します。装置内に入ることができるので、竜巻に触ることができます。

活動報告

◆ 企画展「なぎさの博物館 砂浜」(2月26日～4月10日開催)

平成23年2月26日(土)～4月10日(日)までの間、企画展「なぎさの博物館 砂浜」を開催しました。展示では愛媛県沿岸で観察できる貝の展示や、砂浜に生育する植物の写真、海岸に流れ着く様々な漂着物のほか、日本各地の砂浜の砂などを展示しました。また展示期間中には体験イベントも開催され、3/5と3/6には沖縄のNPO法人海の自然史研究所の方々に講師に招いたワークショップが開催され、砂浜の環境と生物の関係について学びました。



◆ GWスペシャル科学体験イベント「わくわく！ミュージアム」(5月3日～5日開催)

5月3日(火)～5日(木)の3日間、GWスペシャル科学体験イベントとして、「わくわく！ミュージアム」を友の会科学クラブ、天文クラブと共催で開催しました。

巨大実験ショーでは、巨大シャボン玉体験、ソーラークッキング、虹の大実験、ドキドキマジカル・サイエンスショー、ドラム缶つぶし大実験など迫力のある実験ショーを行い、プチ科学工作では、風船ホバークラフト、風船スライム、水引携帯ストラップ、トコトコ馬、しょうのう船、ダンシングスネーク、ブーメラン&紙トンボ、空気砲、スライムなど自由に参加できる科学工作を実施しました。また、博物館屋上の天文台では、天文クラブによる「太陽と金星を見よう！」を実施しました。3日間の来館者は、10,485名もあり、大変盛況でした。



ソーラークッキング

◆ 企画展「剥き出しの地球 南極大陸」(4月23日～6月5日開催)

4月23日(土)～6月5日(日)までの間、企画展「剥き出しの地球 南極大陸」を開催しました。この企画展では、松山市出身の写真家、阿部幹雄氏が撮影した70点に及ぶ写真を展示したほか、南極で採取された月や火星の隕石、ウェッデルアザラシのはく製、調査活動で使用されたテント・装備品等の貴重な資料を展示し、美しくも厳しい南極大陸の自然や、過酷な自然環境の中で行われた調査活動の実態を紹介しました。特に、南極の氷にさわったり、テント内の寝袋に入ったりできるコーナーは大人気で、会場内には子どもたちの楽しそうな声が上がっていました。また、4月24日(日)には阿部氏を講師にお招きし、セール・ロンダーネ山地地学調査隊での貴重な体験談を交えた講演会も開催しました。期間中、17,625名もの方々に観覧していただき、企画展は大盛況でした。



本物の南極の氷にも触れました

これからのイベント

■ 今年の夏は「夏だ！おもしろ実験まつり」で科学体験をしよう！

毎年恒例、夏休みのスペシャルイベントとして、体験型科学イベント「夏だ！おもしろ実験まつり」を8月12日(金)～14日(日)の3日間、開催します。

迫力あるドラム缶つぶしや1m以上のシャボン玉などの巨大実験ショーやプチ科学工作など盛りだくさんの内容で皆様を不思議な科学の世界へご招待します。さらには、天文クラブによる「太陽を見よう！」も行います。今年の夏は、家族みんなで科学体験にチャレンジしてはいかがでしょうか。



巨大シャボン玉体験

■ 巡回展 森の博物館

西日本最高峰の石鎚山をはじめ、県土の多くを森林におおわれた愛媛県には、多種多様な動植物がすんでいます。

この巡回展では森林の植物、そこにすむ動物や昆虫を標本で紹介します。また、パズルなどの木製玩具で遊ぶコーナーもあります。ぜひ、ご来場ください。

平成23年10月8日(土)～11月13日(日)

【会場】企画展示室 入場無料

※この展示は森林環境税を活用しています。



土小屋から見た石鎚山

博物館講座参加者募集 7月-10月

◆自然観察会 ●対象:小学生以上

- ⑤夜の虫ウォッチング 8/26(金) 19:30~21:00 学び舎 えひめ
■場所…博物館周辺 ■定員…30名 ■参加費…50円
■応募締切…8/12 ※荒天時中止
- ⑥海辺の自然ウォッチング 10/10(月・祝) 10:00~15:00 学び舎 えひめ
■場所…大角海浜公園(今治市)※博物館よりバスで移動
■定員…40名 ■参加費…1050円 ■応募締切…9/26
※荒天時中止
- ⑦渡るチョウの観察 10/23(日) 10:00~13:00
■場所…皿ヶ嶺(東温市)※現地集合 ■定員…30名
■参加費…無料 ■応募締切…10/7 ※荒天時中止
- ⑧関川の岩石・鉱物 10/30(日) 10:30~14:00 学び舎 えひめ
■場所…関川(四国中央市土居町)※博物館よりバスで移動
■定員…40名 ■参加費…1050円 ■応募締切…10/14
◆講師:皆川鉄雄(愛媛大学理学部) ※荒天時:博物館で講義を行います

◆親子自然教室 ●対象:小学生とその保護者

- ①化石のレプリカを作ろう
8/21(日) (C)9:30~12:00 (D)13:30~16:00
■場所…科学実験室 ■定員…各回12組24名
■参加費…親子2人で400円 ■応募締切…8/5
※受講は1回のみです。希望時間を選んでください。
- ②火山灰からきれいな石をさがそう
7/31(日) (A)10:00~12:00 (B)13:30~15:30
■場所…科学実験室 ■定員…各回12組24名
■参加費…親子2人で300円 ■応募締切…7/15
※受講は1回のみです。希望時間を選んでください。
- ③昆虫の標本を作ろう
(1回目) 昆虫採集 8/6(土) 10:00~12:00
(2回目) 標本作り 8/7(日) (A班) 10:00~12:00
(3回目) 標本整理 8/28(日) (B班) 13:30~15:30
■場所…博物館周辺と科学実験室 ■定員…各回24組48名
■参加費…親子2人で450円 ■応募締切…7/22 ※荒天時中止
※3日セットの受講となります。2回目と3回目はA班(午前)とB班(午後)に分かれて行います。ご希望の班を選んでください。

◆天体観望会 ●対象:小学生以上 共催:博物館友の会

- 定員…20名 ■場所…博物館天文台 ■参加費…50円
◆講師:友の会天文クラブ ※荒天時プラネタリウムで星空解説をします。
- ③夏の星座と星雲・星団 8/27(土) 20:00~21:30 学び舎 えひめ
■応募締切…8/12
- ④秋の星座と星雲・星団 9/24(土) 20:00~21:30 学び舎 えひめ
■応募締切…9/9
- ⑤秋の星座と木星 10/22(土) 19:30~21:00 学び舎 えひめ
■応募締切…10/7

◆かんたん工作教室 7/10(日)・9/11(日)

申し込み方法

- 往復はがき FAX 博物館ホームページ「参加する」のフォーム
のいずれかに、下記の事項を明記して博物館まで応募ください。
- ①希望講座名、開催日 ②希望者全員の氏名、年齢(児童・生徒は学校名と学年)
③住所、電話番号 ④返信先FAX番号またはメールアドレス(FAXまたはインターネットでお申し込みの方のみ)
※1通につき1講座5名までお申し込みできます。
※定員に満たない場合は、申込締切後も受け付けます。
※応募多数の場合は抽選で決定し、全員に結果をお知らせします。
※科学教室③身の回りの放射線測定教室は、愛媛県庁環境政策課へお申込みください。
※かんたん工作教室は申込不要です。当日博物館へお越しください。

◆天文教室

- ①星座早見盤を使いこなそう 7/30(土)17:30~19:00
●対象:小学生以上 ■場所…博物館プラネタリウム ■定員…100名
■参加費…50円 ■応募締切…7/15
※希望者には星座早見盤(300円)を販売します。
- ②手作り望遠鏡を作ろう 8/6(土)17:00~19:00
●対象:小学生とその保護者 ■場所…研修室、博物館天文台
■定員…20組40名 ■参加費…2550円 ■応募締切…7/22
※雲天時:工作後、プラネタリウムで解説を行います。

◆科学実験教室

- ②ふわふわ!でっかい!ジャンボシャボン玉を作ろう
7/23(土)、7/24(日) 13:30~15:30
●対象:小学生以上 ■場所…屋外展示場 ■定員…各日20名
■参加費…350円 ■応募締切…7/8
※受講は1日のみです。希望日を選択してください。
- ③身の回りの放射線測定体験教室 7/30(土) 9:30~15:00
●対象:小学4年生~高校生とその保護者 ■場所…研修室
■定員…30名 ■参加費…無料 ■応募締切…7/12
※問合せ、申込み先…愛媛県庁環境政策課
TEL:089-912-2352(原子力安全係) FAX:089-931-0888

◆科学工作教室 ■定員…20名 ■場所…科学工作室

- ③エコロジーでエコノミー!エコ充電器を作ろう
7/17(日) 13:30~16:30
●対象:小学3~中学生 ■参加費…1050円 ■応募締切…7/1
- ④イライラ棒であそぼう! 8/20(土) 13:30~16:30
●対象:小学4~中学生 ■参加費…1050円 ■応募締切…8/5

◆産業講座

- ②火力・水力発電所見学会~発電のしくみを学ぼう~ 学び舎 えひめ
8/27(土) 10:00~16:00
●対象:小学3年生以上 ■場所…西条発電所(西条市)・本川発電所(高知県)
※博物館からバスで移動 ■定員…40名 ■参加費…1050円
■応募締切…8/12 ◆協力…四国電力㈱
※保安上、参加者情報を見学先へ提出いたします。
- ③鉱山絵葉書からみた産業史に関する考察 学び舎 えひめ
~新居浜市惣開周辺について~ 9/10(土) 13:30~15:00
●対象:高校生以上 ■場所…博物館研修室 ■定員…50名
■参加費…無料 ■応募締切…8/26
- ④マダイ養殖場見学会~漁業を学ぼう~ 学び舎 えひめ
9/19(月・祝) 8:00~18:40
●対象:小学4年生以上 ■場所…マダイの養殖場(宇和島市九島)
※博物館からバスで移動 ■定員…20名 ■参加費…1050円
■応募締切…9/5 ◆講師:広沢初志(宇和島漁業組合専務理事)
※小雨決行。荒天時:9/23(金・祝)に延期。
岸壁・養殖イカダから船に乗り降りがあります。約1.5km歩きます。

申し込み・問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、お気軽に博物館までお問合せください。

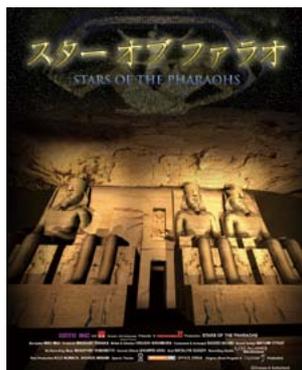
愛媛県総合科学博物館 企画普及グループ
〒792-0060 新居浜市大生院2133-2
電話 0897-40-4104 FAX 0897-40-4101
<http://www.i-kahaku.jp/>

学び舎 えひめ は学び舎えひめ 悠々大学の登録講座です。
詳しくは、愛媛県生涯学習センター学び舎えひめ悠々大学事務局(089-963-2111)、
または、<http://www.i-manabi.jp/system/manabiya/index.html>をご覧ください。



新番組
「スター・オブ・ファラオ」

古代エジプトでは、王であるファラオは、死後の世界で神々と共に星空を旅すると信じられていました。彼らが夜空に描いていた物語とは、いったいどのようなものだったのでしょうか。アブシンベル神殿やギザのピラミッドなど大迫力の全天周 CG 映像とともに、古代エジプトの宇宙観のロマンに触れてみませんか。



©Evans & Sutherland

★ 投影時間(約45分) (7/1(金)～)

		10:30	12:00	14:00	16:00	17:30
7/1～7/15及び9/1～	平日 土曜日	※団体専用 ほしのくに				—
7/16～8/31	平日 土曜日 日曜・祝日	HAYABUSA ほしのくに HAYABUSA	ファラオ	銀河鉄道	HAYABUSA	— ファラオ
8/10～8/16	日曜・祝日	HAYABUSA				特別投影

※団体専用(夏休み以外の平日10:30)は、一般投影番組や学習番組など目的に合わせて内容を選択できます。



「五感で楽しむオモシロ
科学実験」

ヒトは五感によってさまざまなものを感知することができます。そして、喜び、驚き、恐怖などの感情が生まれます。本サイエンスショーでは、「視覚」「聴覚」「嗅覚」「味覚」「触覚」ごとに科学の実験を行い、感覚の種類によってヒトはどのような感情が生まれるのかを体感します。



期間：6/10(金)～9/25(日)

場所：博物館展示棟3階 科学技術館 実験ショーコーナー
開演時刻：実演時間(約20分)

		1回目	2回目	3回目
7/1～7/15及び9/1～	平日(金曜日のみ) 土日祝日	13:00	—	—
7/16～8/31	平日(毎日実施) 土日祝日	13:00	—	—
8/12～8/14		11:00	13:00	15:00

博物館 友の会 Supporting Members of the Museum

平成23年度会員募集中!

友の会は、博物館を積極的に利用し会員相互の親睦を深めることを目的とした会で、どなたでも入会できます。また、天文・科学・自然の3つのクラブでは、積極的に自然科学や産業に親しんでいます。

会員の特典

- 常設展・プラネタリウムに無料で入場できます
特別展などの入場については、その都度定めます。
- 友の会会報や博物館だよりをお届けします
友の会会報と博物館だよりのほか、友の会や博物館のイベント情報もお届けします。
- 友の会が主催する講座や行事に参加できます
天体観望会や科学工作、研修旅行など、楽しいイベントを開催します。



2011.5.14 自然教室「博物館 うら山探検!」

年会費(4月～翌年3月)

[小中学生会員]	500円
[高校生会員]	1,000円
[大人会員]	3,000円
[家族会員]	4,000円
[賛助会員]	10,000円

※10月以降は、上記の半額になります。(賛助会員は除く)

■ 友の会事務局

電話・ファックス 0897-40-4115

利用案内

●開館時間

午前9時から午後5時30分まで(展示室への入室は午後5時まで)
※夏休み期間中(7/16～8/31)の土日祝、及びお盆の期間(8/10～8/16)は、午後7時まで開館。

●観覧料

□常設展示

	一般	団体 (20名以上)
大人(高校生以上)	500円	400円
65歳以上の方	250円	200円
小・中学生	無料	無料

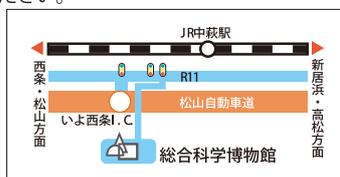
□プラネタリウム

	一般	団体 (20名以上)
大人(高校生以上)	500円	400円
65歳以上の方	250円	200円
小・中学生	250円	200円

※団体利用の場合は、事前にお問い合わせください。

●交通案内

- 松山自動車道いよ西条ICから5分
- JR新居浜駅、伊予西条駅からタクシーで15分
せとうちバス(西条～中萩～新居浜線)で20分
- 無料駐車場(乗用車320台、大型バス8台)あり



-2011-

7月							8月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
					1	2			1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				
31														
9月							10月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	3						1	
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	
							30	31						

■ 休館日 ● 臨時休館日